

意志決定を 行うための ツール

リスク評価

リスク評価プログラムは、化学物質のリスク評価の方法を改善するために様々な活動を行っています。リスク評価を行うに当たって以前よりも精巧かつ全体的なアプローチを行うためのツールボックスを開発することがその目的です。

プログラム中のいくつかの活動は、リスク評価の主要部分である化学物質の暴露評価に焦点を当てており、現在、次のようなプロジェクトが進行中です。

化学物質の有害性とリスクを
推定する方法を共に開発する
プログラムです



- 特定の産業における化学物質の排出量推計シナリオを作成する。
- コンピュータ計算モデルとモニタリング結果を用いた暴露評価のためのガイダンスを作成する。
- 農薬への職業暴露の評価ガイダンスを作成する。
- 環境・職業・消費者暴露を報告するためのフォーマットを作成し、そのような報告の一貫性、透明性を高める。

また、プログラムには、リスク評価プログラムのもう一つの主要部分である化学物質の有害性評価を改善するための新しいプロジェクトも含まれています。このプロジェクトではQSARs（定量的構造活性相関）と呼ばれる技術に注目しており、特に化学物質の分子構造から有害性を推定するための妥当な方法を収集する予定です。このような技術の利用に関するガイドラインは、各政府における有害化学物質のスクリーニングに役立ち、より効率的にリスク評価を行うことを可能にします。

リスク評価の個々の問題に取り組む一方で、本プログラムは協力体制の促進と全体的なプロセス向上のための活動も行っています。例えば、政府がリスク評価の方法を検索できるようにデータベースを開発しました。また、WHO と共に専門用語を統一させ、リストを作成しました。これは各政府が共同で作業を行う際に役立ちます。また、OECD 加盟国が、製造から廃棄

に至るまでの(いわゆるゆりかごから墓場までの)化学製品の影響を評価する際に利用できる「ライフサイクル解析」のためのツールの開発も行っています。

リスク管理

リスク管理プログラムは、化学製品管理の最終段階、つまり一方でリスクを最小限に抑えながら、社会が化学製品の便益を享受できるようにするための化学製品利用の管理方法の決定に関するものです。このプログラムでは加盟国政府が使用可能なツールの開発、およびリスク管理の成功事例の情報交換を促進させるための活動をしています。

例えば、次のような活動をしています

- リスク管理に関する意志決定に使用される社会経済分析の実施方法に関する政府向けガイダンスを作成する。
- 化学製品の消費者とのリスクコミュニケーションに関する政府向けガイダンスを作成する。
- 生産者が、化学物質の潜在的な有害性を研究・開発段階で同定できるようなスクリーニングツールのデータベースを開発する。
- 化学物質のライフサイクルの把握に基づいた暴露量の削減方法について政府と産業界へ情報を提供する。

持続可能な化学は
環境に優しい
化学製品と製造工程の開発を
促進させます



最も重要な活動の一つは「持続可能な化学」の促進に関するものです。この活動は、環境にやさしい化学製品(汚染の程度の少ない溶媒等)や製法(再利用可能な原料の使用等)の開発につながる科学の進歩を支援するものです。このプログラムでは、OECD加盟国における持続可能な化学のための活動の電子情報センターの開設、有望な新技術に対する国の褒賞の付与方法に関する助言およびこの分野における研究の進め方に関するガイダンスの提供、持続可能な化学の実践と理論を教育課程に組み込む方法の提案を行う予定です。

リスク管理プログラムは、OECD 加盟国政府と産業界が共に個別問題の解決に取り組む機会を創出しています。例えば、臭素系難燃剤（燃焼を抑えるためにプラスチック製品や繊維製品に添加されている化学物質）の生産者から成る産業界の自主的な取り組みをまとめましたが、これは臭素系難燃剤の中でも最も有害なものの使用を取りやめ、その他のものに関しては環境への排出を最小限に抑えるために生産工程を改善することを目的としています。また、再充電可能なバッテリーの生産者および使用者も OECD とともに回収・リサイクルを促進する方法の検討に取り組んでいます。

OECD 加盟国政府と産業界
および NGO は
化学物質のリスクを管理する
ために共に活動しています